



がっこうだいすき  
**杉っこ通信**

杉の子特別支援学校だより  
平成28年2学期号  
10月20日 発行

**杉の子本校 文化祭のご案内**

- 日時 平成28年10月 28日(金)  
10月 29日(土) <保護者、一般公開はこの日のみです>
- テーマ 「みんなえがお♪ かがやこう! もりあがろう!  
力を合わせてパワー全開!!」



3. **10月 29日(土) 公開日日程**



9:00	9:45	11:40	12:30	14:10	14:30
	学部発表 (体育館) ・小学部 ・高等部 ・中学部の順に発表 (児童生徒は発表時のみ体育館へ)	・昼食 ・休憩 ・展示見学 (図書室・ロビー)	・作品展示 (図書室・ロビー) ・お楽しみコーナー 体験コーナー (プレイルーム) 音楽コーナー (体育館)	PTA企画 (体育館・プレイルーム)	クロージング (体育館)

- 車でお越しの方は、ダム下駐車場への駐車をお願いいたします。駐車場に限りがありますので、できるだけつめて駐車することにご協力ください。なお、鈴鹿病院駐車場に駐車することはお控えください。
- 観覧席は設置しておりませんので、必要に応じて敷物等ご準備ください。
- 昼食につきましては、各自でご用意ください。



**小学部**

「すぎりんぴっく」



すぎのこのオリンピック「すぎりんぴっく」に  
全員集合!

聖火や太鼓演奏、ダンスなど見逃せない種目の連続。  
最後はみんなでダンス。お楽しみに!



# 中学部



## 友よ～この先もずっと～

中学部は「友だち」をテーマに 44人の生徒が歌や楽器演奏、ダンスを発表します。みんなで力を合わせた演奏をお楽しみください。



- 「友よ～この先もずっと～」
- 「夢をかなえてドラえもん」
- 「また会える日まで」
- 「みんながみんな英雄」
- 「HERO」
- 「あまちゃんのテーマ」
- 「エル・クンバンチェロ」
- 「南中ソーラン」
- 「あかつよさこい」 などなど



# 高等部

## 「宝島へGO！」



2グループに分かれて、音楽バトルをします。

めざすは、『宝島（たからじま）』です。



- ♪「カンナムスタイル」
- ♪「南中ソーラン」
- ♪「ベル」
- ♪「トーンチャイム」
- ♪「宝島」



しずかな曲は、じっくりきいて～

ノリノリの曲は、いっしょにリズムにのってね！！



## 松阪地域にできる新しい学校の名前を考えました

平成30年の開校を目指して現在整備中の松阪地域特別支援学校（仮称）の校名が公募されていたので、9月2日のホームルール等を活用して、新しくできる学校の校名を、生徒みんな考えて、応募しました。

石薬師分校だけで35種類の名前を個人やクラスで考えて応募したのですが、校名選定委員会には、最終的に106人から88種類の名前の応募があったとのこと。

今後は、校名選定委員会で話し合いがもたれ、年末にも名前が決定されるとのこと。

自分たちが考えた名前が新しい特別支援学校の校名になるということは、なかなかできない経験なので、最終選考の結果が今から楽しみです。

なお、学校全体で校名を話し合ったということについて、選定委員会からは、お礼のお手紙をいただきました。



すずかめホーム

**企業が学校生活を見学  
特別支援学校石薬師分校**

鈴鹿市石巻町の原 参加者は各班に分かれ、立杉の子特別支援学校、石薬師分校で先月15日、障がい者雇用を推進する企業や行政と学 校が連携を深めるパ ートナーシップ会議が 行われました。

生徒の目への実習 活動を見て、雇用の参 考にしておろすと8 年ほど前から実施。年 2回開き、鈴鹿市と亀 山市の企業や行政機関 の関係者が参加。

「学生が生徒の個性を よく理解しているよう に感じた」「企業と学 校、企業同士の連携の 場をもっと活用できたい」と学校は生徒が落ち 込んでいたり、情緒不 安定な時はこんな対応 の活発な意見や質問が 出されてきました。

意見を交換し合う参加者

「すずかホームニュース」の記事より

最近、県内の障がい者雇用も上向いてきていますが、多くの方々に子どもたちのようすを知って頂き、子どもたちの「自立と社会参加」を進めるために、今後もこうした取り組みを進めていきたいと思いをします。

石薬師分校では、学校を卒業した後に、ほとんどの子どもたちが通うことになる鈴鹿市と亀山市の進路先や進路に関わる支援をして頂ける行政機関などに定期的に情報発信をするために「パートナーシップ会議」という話し合い場を設けています。

6月頃と9月頃の年間2回で5年以上継続して実施しています。この9月も参加者が14名でした。

関係者の方々には、実際に分校の子どもたちの授業のようすを参観して頂き、その後、障がい者雇用に関わる課題や疑問について出し合って頂き、話し合いを進めて頂いていきました。

参加者のみなさんからは、「学校は生徒の個性をよく理解しているようだった」とか「企業と学校、企業間の連携の場をもっと活用していきたい」などと活発なご意見も多く頂くことができました。

### 進路関係の会議 を開催しました